



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日～2020年11月30日にご同意いただいた方で
アルツハイマー型認知症、軽度認知障害と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

血液脳関門機能障害に着目した中枢神経系疾患早期診断技術の開発

【研究責任者】

近藤昌夫（大阪大学 薬学研究科）

【本研究の目的及び意義】

超高齢化社会においてはアルツハイマー病や認知症等の増加が問題となっており、早期の治療介入による疾患の進行の抑制が健康寿命の延伸に重要である。しかし、未だ早期治療介入に資する客観的バイオマーカーは実用化されていない。本研究では、血液脳関門等を構成する密着結合に関連する因子に着目し、これら疾患に対する新たなバイオマーカー・診断技術の開発を目的とする。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血清）、髄液
性別、年齢、診断名、既往歴、心理検査結果、髄液検査結果、MRI等判定結果

【研究期間】

2020年9月20日～2025年3月31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520 e-mail : biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)